

ご使用に際して、この添付文書を必ずお読みください。  
また必要な時に読めるよう大切に保存してください。

カルシウム剤

第2類医薬品

# シピカD<sub>3</sub>ゴールドII錠

カルシウムは、日本人に最も不足しているミネラルと言われています。カルシウムは私たちの骨や歯を形成、筋肉の収縮やさまざまな酵素が正常に機能するために必要なミネラルで、日ごろから十分な量のカルシウムを摂取し続けることが大切です。

◎カルシウムの摂取基準 (mg/日)

年 齢		15歳～17歳	18歳～29歳	30歳～49歳	50歳～69歳	70歳以上
推奨量	男	800	800	650	700	700
	女	650	650	650	650	600

推奨量とは、1日の必要量を満たすと推定される1日摂取量

カルシウムが不足すると骨のカルシウム量が減少し、骨がもろく折れやすくなります。また、妊娠・授乳期の女性は普段より多くのカルシウムが必要になり、ご年輩の方は加齢に伴いカルシウムの吸収が衰えます。

「シピカD<sub>3</sub>ゴールドII錠」は、1日朝夕食後2回6錠の服用で、約600mgのカルシウムが摂取できます。また、ビタミンD<sub>3</sub>、ウルソデオキシコール酸、2種のアミノ酸（L-リシン塩酸塩、タウリン）が腸管からのカルシウムの吸収を促進し、カルシウムを効率よく補給できます。



## 使用上の注意



### 相談すること

- 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください  
医師の治療を受けている人。
- 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この添付文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

関係部位	症 状
消化器	吐き気・嘔吐

- 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください  
便秘、下痢
- 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

### 【効能・効果】

次の場合のカルシウムの補給：妊娠・授乳期、発育期、老年期

### 【用法・用量】

次の量を、朝夕食後に水又は白湯にて服用してください。

年 齢	1回量	1日服用回数
成人（15歳以上）	3錠	2回
15歳未満	服用しないでください	

### 〈用法・用量に関連する注意〉

用法・用量を厳守してください。

裏面もよくお読みください。

**【成分・分量】**

1日量（6錠）中

	成分	分量	作用
内 核 錠	理研ドライD <sub>3</sub> -B5N-GP (コレカルシフェロール (ビタミンD <sub>3</sub> ))	80mg (400国際単位)	カルシウムの吸収促進や骨の形成などに重要な役割をする脂溶性のビタミンです。
	L-リシン塩酸塩	120mg	アミノ酸の一種で、カルシウムの吸収を助けます。
	リボフラビン (ビタミンB <sub>2</sub> )	5mg	身体の働きに欠かせないビタミンです。
外 層	沈降炭酸カルシウム	1500mg	カルシウム600mgに相当します。
	タウリン	165mg	アミノ酸の一種で、カルシウムの吸収を助けます。
	ウルソデオキシコール酸	10mg	ビタミンD <sub>3</sub> とともにカルシウムの吸収を促進します。
	炭酸マグネシウム	118.4mg	マグネシウム30mgに相当します。

添加物として、中鎖脂肪酸トリグリセリド、ラウリン酸ソルビタン、ゼラチン、白糖、タルク、グリセリン脂肪酸エステル、乳糖水和物、セルロース、ヒドロキシプロピルセルロース、無水ケイ酸、ステアリン酸Mg、マクロゴール、D-マンニトール、還元麦芽糖水アメ、トウモロコシデンプンを含有する。

**〈成分に関連する注意〉**

本剤の服用により尿が黄色くなることがありますが、これは本剤に含まれるビタミンB<sub>2</sub>によるものです。

**【保管及び取り扱い上の注意】**

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管してください。
- (2)小児の手のとどかない所に保管してください。
- (3)他の容器に入れ替えないでください。  
(誤用の原因になったり品質が変わります)
- (4)使用期限の過ぎた製品は使用しないでください。



**〈お問い合わせ先〉**

本剤のご使用により、何かお気づきの点がございましたら、下記までご連絡いただきますようお願い申し上げます。  
 日本薬剤株式会社「お客様相談窓口」  
 電話番号 076-424-2239  
 [月～金 9:00～17:00 (祝日を除く)]

製造販売元 **日本薬剤株式会社**  
 富山市東中野町一丁目1番1号

副作用被害救済制度の問い合わせ先  
 (独)医薬品医療機器総合機構  
<http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>  
 電話 0120-149-931 (フリーダイヤル)